

日本植物病理学会
第11回バイオコントロール研究会のお知らせ

日本植物病理学会第11回バイオコントロール研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催期日：平成21年3月29日（日）
2. 会 場：山形大学 小白川キャンパス 教養教育棟2号館
（山形市小白川町一丁目4-12 TEL: 023-628-4008）
3. 統一テーマ：微生物と植物の相互作用を利用した病害防除—生物防除の基礎と応用—
4. 主催・共催：バイオコントロール研究会
5. 参加費（講演要旨集合）：4,000円、（講演要旨のみ、2,000円）、当日受付にて徴収。事前申込み不要。
6. 昼食について：大学の周辺に食堂が少ないため、学生食堂を臨時に営業いたします。昼食は学生食堂の利用をお願い致します。

プログラム

9:00-9:05 開会の挨拶

イントロダクション

9:05- 9:40 生物防除の将来展望について
土屋健一氏（九州大学）

第一部 基礎

9:40-10:15 イネの誘導抵抗性を担う転写因子 WRKY45 の解析から見えるイネ—いもち病菌の攻防
高辻博志氏（農業生物資源研究所）

10:15-10:50 タバコ植物における病・虫害誘導抵抗性と細胞死の情報伝達とクロストーク
光原一朗氏・瀬尾茂美氏（農業生物資源研究所）

10:50-11:00 〈休憩〉

第二部 応用

11:00-11:35 紋羽病菌に感染するマイコウイルス—ヴァイロコントロールを目指して—
兼松聡子氏（果樹研究所）

11:35-12:10 根圏の活性化を利用したトマト青枯病の生物防除
篠原 信氏（野菜茶業研究所）

12:10-13:10 〈休憩〉

13:10-13:45 異種微生物間の相互作用およびその生物防除への活用の可能性
吉田重信氏（農林水産技術会議事務局）

第三部 新規登録農薬の開発経緯と普及に向けた取り組み

13:45-14:20 日本微生物防除剤協議会の活動に関して
土井清二氏（日本微生物防除剤協議会）

14:20-14:55 アブラナ科根こぶ病剤（フィールドキーパー）の開発
丸池和泉氏・高原吉幸氏（セントラル硝子株式会社）

- 14:55-15:30 キュウリモザイク病を防ぐ新規ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤（キュービオ ZY-02）の開発と普及展開
小坂能尚氏・梁 宝成氏*・片桐伸行氏*・安原壽雄氏*（京都府農業資源研究センター，* 株式会社微生物化学研究所）
- 15:30 閉会の挨拶

問い合わせ先：第 11 回バイオコントロール記念研究会開催事務局

〒 997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23

山形大学農学部 生物生産学科 生産生態御学講座 植物病理学研究室

生井恒雄，長谷 修

TEL: 0235-28-2842

E-mail: s.hase@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp